

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかな拡大を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は弱い動きとなったものの、設備投資は堅調に推移している。個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は増加基調にある。

こうした中、生産は横ばい圏内の動きとなった。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・基調としては弱め

8月の公共工事請負金額は、国が増加したものの、県、市町村などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲6.3%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
山形県	▲3.7	▲54.8	▲27.1	▲27.6	3.7	▲6.3

＜資料＞東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・堅調に推移

7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、卸・小売、運輸などは減少したものの、製造業、農林水産などが増加したため、全体では前年を上回った（前年比40.4%）。6月短観における2018年度の設備投資計画（全産業）は、2017年度の大幅増加の反動で減少する計画（前年度比▲20.3%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
山形県	14.7	25.1	3.2倍	▲7.8	▲29.9	40.4

＜資料＞国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2018年6月山形短観） 前年度比、%

山形県	2016年度（実績）	2017年度（実績）	2018年度（計画）
全産業	24.6	47.5< 4.3>	▲20.3< 9.9>
製造業	28.8	70.7< 5.9>	▲29.1< 10.2>
非製造業	19.5	16.5< 1.3>	▲3.0< 9.3>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったものの、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では前年をわずかに下回った（前年比▲0.2%）。一方、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2017年 10～12月	2018年 1～3月	4～6月	2018年 5月	6月	7月
全店	0.5	▲0.6	▲3.0	▲3.9	▲1.1	▲1.3
既存店	▲1.1	▲0.5	▲1.2	▲2.5	0.3	▲0.2

〈資料〉経済産業省

8月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、前年を上回った（前年比6.7%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
乗用車 (含む軽)	11.9	▲11.5	▲1.0	▲2.4	1.0	6.7
乗用車 (除く軽)	5.8	▲7.4	1.7	▲3.4	2.8	12.0

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・増加基調

7月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも減少したため、全体では7か月振りに前年を下回った（前年比▲11.2%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
山形県	19.0	▲1.5	72.6	24.4	4.2	▲11.2
持家	25.7	5.1	12.4	▲4.0	14.4	▲0.3
貸家	5.4	▲10.9	3.0倍	4.0倍	▲7.1	▲31.6
分譲	46.7	7.5	2.8倍	21.1	▲1.6	▲13.7

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・横ばい圏内の動き

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月振りに前月を下回った（前月比▲3.1%）。業種別には、化学、窯業・土石など6業種が上昇したものの、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械など16業種が低下した。6月の在庫指数（季節調整済）は、2か月続けて低下した（前月比▲0.7%）。

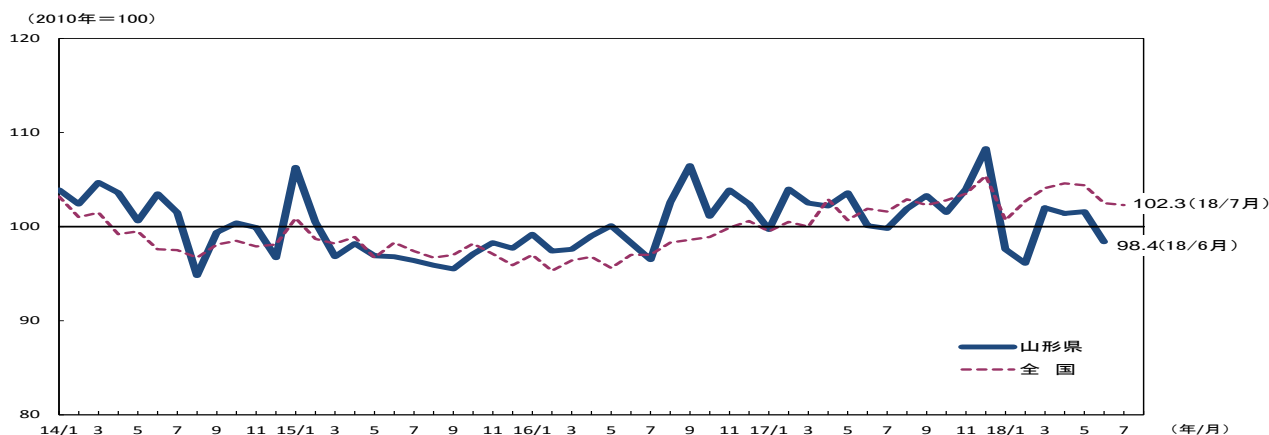
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	1.4	4.1	6.1	r ▲0.6	0.2	p ▲3.1
	原指数前年比%	▲1.5	6.7	▲1.6	r ▲1.0	▲0.5	p ▲2.8
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	▲0.5	▲7.1	4.6	▲2.0	p ▲0.7
	原指数前年比%	4.8	▲2.7	▲7.7	▲6.8	▲9.1	p ▲8.6

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.65倍となった。業種別の新規求人数は、金融・保険・不動産・物品賃貸などは減少したものの、サービス、製造業などは増加した。7月の雇用保険受給者は、前年をわずかに上回った（前年比0.1%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2017年 10～12月	2018年 1～3月	4～6月	2018年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.62	1.66	1.61	1.57	1.64	1.65
完全失業率	1.6	2.2	1.7	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲19.3〉	〈▲5.8〉	〈▲5.1〉	〈0.1〉	〈▲5.1〉	〈0.1〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比2.3%）。業種別には、複合サービス、運輸・郵便などは前年を下回ったものの、製造業、卸・小売などは前年を上回った。

6月の所定外労働時間は、前年と同水準となった（前年比0.0%）。業種別には、卸・小売、金融・保険などは前年を下回ったものの、宿泊・飲食サービス、運輸・郵便などは前年を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 4月	5月	6月
常用雇用指数	0.7	0.4	2.2	1.8	1.8	2.3
所定外労働時間	3.3	8.8	1.0	0.0	3.0	0.0

<資料>山形県企画振興部

6月の現金給与総額（名目賃金指数）は、教育・学習支援、生活関連サービスなどは増加したものの、卸・小売、建設などが減少したため、5か月振りに前年を下回った（前年比▲0.4%）。

6月のきまって支給する給与は、5か月連続で前年を上回った（前年比0.9%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 4月	5月	6月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.9	3.0	0.7	0.6	0.8	▲0.4
きまって支給 する給与	1.6	1.7	0.9	0.3	0.8	0.9

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

8月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）、負債総額（7.5億円）とも引き続き低水準（<前年同月>倒産件数4件、負債総額5.1億円）。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
件数	4	5	6	2	4	4
負債総額	2.5	7.6	4.1	0.9	2.0	7.5

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回る動き

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.9%)。費目の内訳をみると、家具・家事用品、被服及び履物などは前年を下回ったものの、光熱・水道、交通・通信などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
総合	0.9	0.7	0.8	0.7	0.4	0.8
生鮮食品を除く総合	0.8	0.7	0.6	0.7	0.9	0.9

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年を上回った(前年比0.3%)。

7月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、企業向けを中心に前年を上回った(前年比1.1%)。

この間、7月の貸出金利は低下した(前月比▲0.003%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
実質預金+CD (末残前年比)	1.2	0.5	1.6	0.6	0.8	0.3
貸出金 (末残前年比)	1.7	2.2	1.9	1.1	1.2	1.1

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2017年 10~12月	2018年 1~3月	4~6月	2018年 5月	6月	7月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.013	▲0.004	▲0.012	▲0.006	▲0.004	▲0.003

7月末水準
1.026%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004